

大会直前連絡（監督会議）資料（令和6年度 県新人 個人対抗戦）

令和6年11月12日（火）競技委員長 呉 洸星

1. 観客について

- (1) 今大会は保護者・応援の生徒の入場を可とします。
- (2) 女子会場は保護者の駐車場は確保していませんので、会場に保護者が駐車することがないように宜しくお願い致します。男子会場は指定された場所に駐車してください。

2. 全国高等学校選抜大会中国地区予選会（鳥取県開催）出場枠の確認

2複2単

3. 競技方法等の確認

- (1) 令和6年度（公財）日本バドミントン協会競技規則および大会運営規程、公認審判員規程に則って行います。
- (2) 1日目にダブルスから始め、ダブルスでコートが埋まらない状況になった段階で、シングルスを並行して行います。シングルスは男子が試合番号56まで、女子が試合番号55までを1日目に行い、2日目は残り試合全部を行います。
- (3) 同一選手のマッチが続く場合は、最低10分以上の時間を空けます。
- (4) ゲーム間のインターバルは2分とし、その間最大2名までがチェンジエンス後に選手の側でアドバイスできます。11点でのインターバルは60秒とし、選手はコートから離れることはできません。
- (5) コーチングシートを2席設けますが、シートに入れるのは、学校対抗戦に登録した監督・コーチ・マネージャーおよび個人対抗戦に出場する選手のみです。
- (6) 引率等の関係で学校対抗戦と監督・コーチが異なる場合および、個人対抗戦の1日目と2日目で監督を交代する場合は許可をいたしますので、本部席に届け出てください。
- (7) コールされて5分以内にコートに入らない場合は、棄権になることがあります。
- (8) 朝全体で10分間の練習を行います（コート割参照）。試合前の練習は行いませんのでご注意ください。
- (9) 主審、線審とも、必ずルールを理解している生徒に行わせてください。選手のアピール等に惑わされず、自信を持ってジャッジさせてください。きちんと審判ができていない場合は、まず引率教員に対応していただくので、本部席へ申し出てください。審判をしている生徒へ直接、抗議や指導を行わないようお願いいたします。ジャッジに対して主審への質問はできますが、主審及び線審への抗議は認められていません。
- (10) 審判は基本的に敗者審判で行いますので、応援兼審判要員の生徒を含めた遠征計画を立ててください。ただし、2日目の第1試合のみ試合をする学校に審判を出してもらいますので、該当の学校はご準

備をお願いします。

- (11) 男女各種目とも5位(ベスト8)まで賞状がありますので、必ず賞状をお持ち帰りください。
- (12) その他、重要な連絡は必ず放送で全体に知らせますので、個人的な見解や情報で判断されないようにお願いします。

4. 会場使用について

- (1) 土足と体育館シューズを区別してください。
- (2) ゴミの持ち帰りについては、絶対に会場校に迷惑をかけることがないように、特に徹底してください。各校でゴミ袋を用意するなどの工夫をお願いします。
- (3) 選手としての自覚やマナーを意識して行動するようご指導ください。会場での生徒の過ごし方については各校で指導をお願いします。(スマホ・携帯・ゲームや漫画など)
- (4) 貴重品の管理、持ち物の管理、忘れ物の確認については各校の責任をお願いします。紛失等があっても事務局や会場校では責任を負えません。また、忘れ物については専門部で1週間程度預かりますが、照会がない場合にはその後廃棄させていただきます。

5. 使用シャトルについて

(公財)日本バドミントン協会第1種検定合格球(4番)を使用します。受付時ダブルス1ペア、及びシングルス1人ごとに1個本部に提出してください。試合ごとに、決められた個数のシャトルを本部から提供しますが、足りなくなった場合は相互でシャトルを出し合ってください。なお、本部から提供されたシャトルは、試合後に負けた選手がスコアシートとともに必ず本部に返してください。

6. 日本バドミントン協会登録について

日本バドミントン協会に登録していない者は出場できません。必ず登録および会費の支払いを済ませてください。登録手続きの詳細については、広島県協会のwebページをご覧ください。

7. ウェアについて

競技中は規定のものを着用してください。ウェア等に関わって競技上危険または不品行であると判断した場合には、是正をお願いすることがあります。また、監督・コーチの服装についても、指導者としてふさわしいものをお願いします。